

< その他 女性や高齢者が共同取組活動へ参画する協定の事例 >

女性や高齢者も主役！！みんなで取り組む集落協定

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県阿武郡阿武町・福田中			
協定面積 75.5ha	田(100.0%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻、大豆、野菜			
交付金額 792万円	個人配分			15%
	共同取組活動分 85%	農業生産活動等		60%
		多面的機能増進活動等		20%
		その他の活動		5%
協定参加者	農業者 102人	特定農業法人 2	非農家	- 人

2. 集落マスタープランの概要

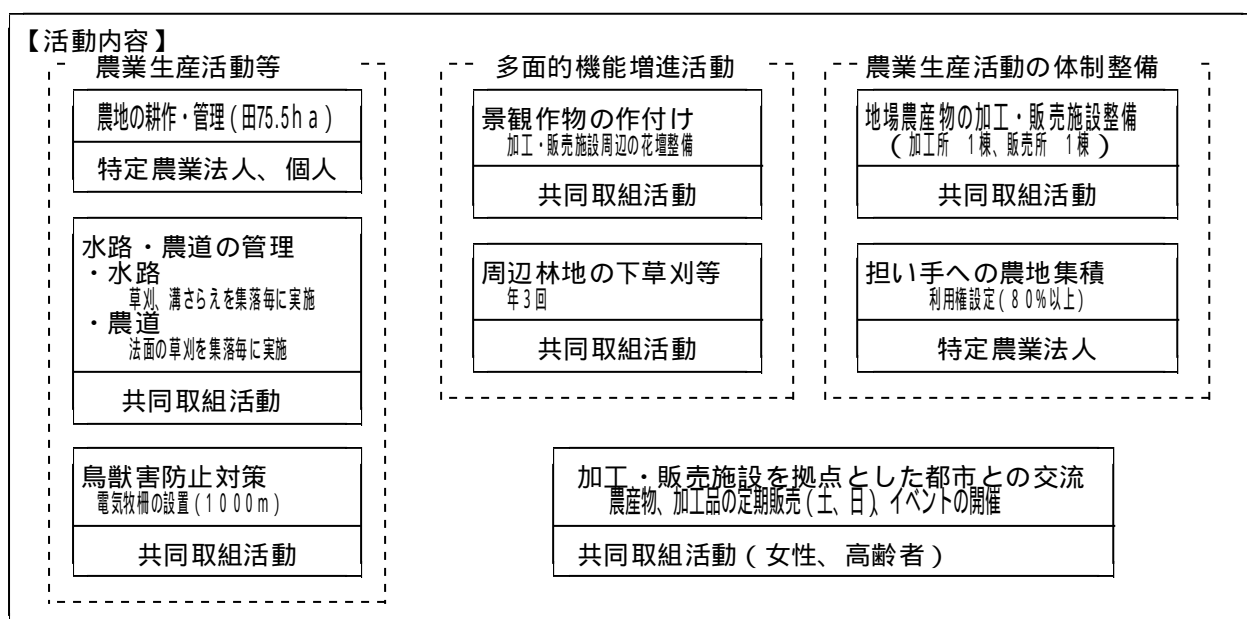
集落の将来像

1期対策において設立した農事組合法人を中心に、農地の集積を進めながら経営の安定化を図るためもち米やミネラル米など売れる米づくりへの取り組みを進めるとともに大豆の面積を拡大する。また、女性や高齢者の積極的な参画を求め女性が活躍できる場を提供し野菜の栽培、加工技術を後継者に伝授し、加工・販売施設を拠点に地区内他集落と連携しながら都市との交流に力を入れていく。

5年間の目標


ア、法人への集積を80%以上にする。また、売れる米づくりへの挑戦としてミネラル米の栽培に取り組む。

イ、地場農産物の加工・販売施設を整備し、定期的な加工・販売を実施する。



3. 取組の経緯及び内容

- 当協定は、1期対策で5集落からなる大規模な協定を立ち上げ、大豆及びレンゲの団地化を実施し大豆においては管理機・コンバインを共同購入。機械の共同利用と共同作業等を実施する中で集落営農の組織化への関心が高まり、中山間の役員が中心となって検討を続けた結果、平成15年10月に農事組合法人福の里を設立した。
- 本対策では、この農事組合法人福の里が中心となって1期対策で実施した諸活動を継続実施するとともに、農地の集積を進めながらミネラル米の栽培、大豆面積の拡大に取り組むなど経営の安定化を図る。また、女性や高齢者の積極的な活動への参画を求め、特に高齢者の経験を活かし野菜の加工技術を伝授してもらい加工品の開発を行い、地場農産物の加工・販売を行うための拠点として平成18年11月に加工・販売施設を整備した。この施設では、法人女性部が中心となり餅の加工・販売を開始している。
- 今後は、法人の経営安定はもちろん、加工・販売施設の経営安定を図るため、女性や高齢者に積極的に関わってもらい加工・販売を定期的に開催できるようにするとともに地区内他集落とも連携し、農産物・加工品を消費者に安定供給し、定期的なイベント開催など都市との交流を進めることとしている。

<p>農用地保全マップ</p> 	<p>【保全マップの解説】</p> <p>鳥獣害防止柵の設置範囲 (既設分と新規分を色分けし、どこを補修し、どこを新設するのかをわかりやすくする工夫をしている。) 管理水路と関連するため池を図示 (協定関係者の協同の意識を醸成) (左図は、保全マップの一部を抜粋)</p>
--	--



交付金を活用した農産物加工・販売施設全景



協定参加者による餅加工の様子

【平成21年度までの取組目標】
 法人への農地の集積を推進（利用権80%以上）
 地場農産物の加工・販売施設の経営安定及び同地区内他集落との連携による都市との交流の推進